

ボランティア活動グループ訪問記



素敵な歌声とみことな演奏で
観衆を魅了しているバンド
「チョップスティックス」



秋のほかほかふれあいフェスタや、冬の障害者週間キャンペーンに、いつも参加いただいているバンド「チョップスティックス」の代表をされている牧紫さんに活動の様子をメールでインタビューさせていただきました。

◆設立年や設立されたきっかけを教えてください。

◆2012年の春ごろ結成しました。伊勢原養護学校で同僚で結成したバンドです。当時学校で音楽祭を年3回開催しており、その音楽祭で演奏していました。当時のメンバーは年によって入れ替わることもありましたが、音楽が大好き仲間たちと集まって演奏を楽しんでいます。

◆バンドの名前の由来などがあれば教えてください。

◆チョップスティックスは「お箸」という意味で、「箸が転がっても面白い」という言葉から楽しく音楽を



2024年障害者週間キャンペーンにて



したいという気持ちで命名しました。

◆メンバーや担当楽器などの構成を教えてください。

◆ボーカル、ギター、ベース、ドラム、サックス、キーボードです。

◆牧さんが参加なさったきっかけは？

◆私からバンド結成の声を行いました。学生時代もバンドをやっていたので、教員になってからも定期的に音楽に触れられる機会になり楽しんでいます。

◆練習はどのようになっていますか？

◆それぞれ別の学校に勤務しているので、メールやLINEなどで選曲し、ライブ前に数回音楽スタジオで集まり練習しています。

◆ほかほかフェスタに参加なさった感想を教えてください。

◆スタッフの皆さま、お客さま、とても暖かい雰囲気です。野外で行った経験があまりないので、野外ならではの開放的な雰囲気とても素敵です。

◆ほかほか以外に参加なさっているイベントなどがあれば教えてください。

◆コロナ禍でイベントが縮小したり、なくなったりしたこともあり、現在はほかほかふれあいフェスタの他には出演していません。ほかほかでは毎年良い機会をいただきありがとうございます。

◆エピソードなどがあればぜひ！

◆当日の雰囲気重視しているため、突然曲を変更したり、ボーカルのモノマネやアドリブが入ったりすることがあります。一緒に盛り上がっていただくと嬉しいです。



◆その他、読者に伝えたいことなどがあればぜひ詳しくお願いします。

◆バンドメンバーは日頃は教員として子どもたちと関わっていますが、音楽で地域みなさんと繋がることをとても楽しみにしています。これからいろいろな場所で演奏できたら嬉しいので、もしどこかで演奏の機会がありましたらお声かけいただけると嬉しいです。

今年度、小田原の支援学校へ転勤された牧さんにインタビューをお願いしたところ、『バンドメンバーの昔話を振り返りながら、結成当時のことを思い出しました』と優しいお返事をいただきました。

実をいうと、当協会の映像企画実行員は、1月12日に開催された「新成人を祝つ会」のイベントコーナーでもお会いしています。演奏とともに、新成人も手拍子やダンスで音楽に乗って楽しんでいました。

今年のほかほかふれあいフェスタは10月11日に開催されます。その際は、ボーカルのモノマネやアドリブをみんなで楽しみながら一緒に盛り上がりましょう！（恒藤）

ほかほかふれあいフェスタ2024



チョップスティックスさんの連絡先
小田原支援学校 牧紫（まき ゆかり）

Eメール maki-oh9@pen-kanagawa.ed.jp